

## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月30日

上場会社名 株式会社ホットランド 上場取引所 東  
 コード番号 3196 URL http://www.hotland.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐瀬 守男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 武藤 靖 TEL 03 (3553) 8885  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	8,019	△3.6	497	△14.3	561	1.7	265	△21.3
2019年12月期第1四半期	8,315	2.6	579	63.0	551	71.5	337	254.0

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 446百万円 (10.1%) 2019年12月期第1四半期 405百万円 (1,127.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円
2020年12月期第1四半期	12.34	12.26
2019年12月期第1四半期	18.25	18.08

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	18,422	8,095	42.2	360.91
2019年12月期	17,730	7,753	42.0	346.31

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 7,766百万円 2019年12月期 7,448百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有  
 新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響が見込まれ、現時点では連結業績予想の合理的な算定が困難なため、2020年2月14日に公表した連結業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期 1 Q	21,518,400株	2019年12月期	21,508,600株
2020年12月期 1 Q	一株	2019年12月期	一株
2020年12月期 1 Q	21,508,708株	2019年12月期 1 Q	18,466,818株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(後発事象) .....	7
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、年初は緩やかな回復基調にありましたが、後半は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により急速に経済活動が停滞するなど、先行きが見えない厳しい事業環境となりました。

このような状況下、当社グループでは、主力ブランドの「築地銀だこ」事業の安定的な成長をベースとして、子会社である株式会社ギンダコスピリッツによる酒場業態の成長加速、製販事業の拡大、海外事業の推進等により、成長ドライバーの多層化に向けて取り組んでまいりました。

主力ブランドの「築地銀だこ」においては、毎年恒例の『ぜったいお得な!! 福袋』の販売をはじめ、3月の創業日に合わせた『創業祭』キャンペーンなどの販売促進や、期間限定の新商品投入などに取り組みました。一部の店舗では、デリバリーやテイクアウトの需要増により売上が好調な店舗もありましたが、外出自粛等の影響を大きく受け、当第1四半期における既存店売上高前年比は95.7%となりました。出店については、特に酒場業態において積極的に取り組みました。1月21日に東銀座にオープンした「ギンダコハイボール横丁 東銀座店」は視認性も良い立地で好調なスタートを切りました。2月21日には「おでん屋 たけし」の関西2号店目となる梅田店をオープンしました。

製販事業においては、コンビニエンスストアでの冷凍たこ焼の販売が好調なことから、ベトナムやタイの協力工場での稼働を新たにスタートさせるなど、製造キャパシティの拡大に取り組みました。前期に開始した冷凍クロワッサンたい焼の販売についても、積極的に販路の拡大に取り組みました。

海外事業においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、休業となる店舗が相次ぎました。特に、香港においては、更に過激度を増すデモ活動の継続及び新型コロナウイルス感染拡大の影響から、経済活動に著しい萎縮傾向がみられます。弊社グループ店舗においても一貫してその負の影響下にあり、厳しい状況でありました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,019百万円(前年同期比3.6%減)、営業利益は497百万円(前年同期比14.3%減)、経常利益は561百万円(前年同期比1.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は265百万円(前年同期比21.3%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して692百万円増加し、18,422百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が1,904百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1,015百万円、たな卸資産が370百万円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して350百万円増加し、10,326百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が1,200百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が130百万円、未払金が225百万円、未払法人税等が286百万円、長期借入金が241百万円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して341百万円増加し、8,095百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が265百万円、繰延ヘッジ損益が150百万円増加した一方、剰余金の配当により利益剰余金が107百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の状況並びに政府、自治体からの各種要請等を踏まえ臨時休業や営業時間短縮を行っており、現時点では、新型コロナウイルスの感染終息時期の見通しが立たず、2020年12月期の連結業績予想の数値については合理的な算定が困難なため、一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルス感染の動向を見極めながら、連結業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,284,819	4,189,134
受取手形及び売掛金	2,427,843	1,412,367
たな卸資産	2,108,202	1,737,733
その他	672,738	685,957
貸倒引当金	△48,932	△44,132
流動資産合計	7,444,671	7,981,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,077,667	5,062,077
その他(純額)	1,067,967	1,102,656
有形固定資産合計	6,145,634	6,164,733
無形固定資産		
のれん	283,289	275,195
その他	192,575	173,009
無形固定資産合計	475,864	448,204
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,389,483	2,457,254
その他	1,304,246	1,378,284
貸倒引当金	△29,779	△6,902
投資その他の資産合計	3,663,950	3,828,636
固定資産合計	10,285,450	10,441,575
資産合計	17,730,121	18,422,636
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,066,848	936,409
短期借入金	100,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	954,144	954,144
未払金	1,340,221	1,114,658
未払法人税等	388,334	101,376
賞与引当金	76,305	163,609
資産除去債務	42,653	12,095
その他	1,047,570	1,042,342
流動負債合計	5,016,078	5,624,635
固定負債		
長期借入金	3,678,294	3,436,728
資産除去債務	624,960	638,778
退職給付に係る負債	64,823	63,556
その他	592,060	563,279
固定負債合計	4,960,138	4,702,342
負債合計	9,976,217	10,326,978

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,294,699	3,295,924
資本剰余金	3,183,575	3,184,800
利益剰余金	786,999	944,905
株主資本合計	7,265,274	7,425,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	417	265
繰延ヘッジ損益	193,658	344,379
為替換算調整勘定	△5,493	795
退職給付に係る調整累計額	△5,233	△4,878
その他の包括利益累計額合計	183,348	340,561
非支配株主持分	305,280	329,464
純資産合計	7,753,904	8,095,657
負債純資産合計	17,730,121	18,422,636

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,315,589	8,019,635
売上原価	3,236,825	3,071,932
売上総利益	5,078,764	4,947,702
販売費及び一般管理費	4,498,886	4,450,479
営業利益	579,877	497,222
営業外収益		
受取利息及び配当金	393	334
為替差益	—	67,177
その他	3,229	11,139
営業外収益合計	3,622	78,651
営業外費用		
支払利息	8,500	7,117
為替差損	5,182	—
支払手数料	2,139	2,351
持分法による投資損失	12,561	—
貸倒引当金繰入額	—	2,500
その他	3,330	2,594
営業外費用合計	31,713	14,563
経常利益	551,786	561,310
特別利益		
固定資産売却益	0	—
子会社株式売却益	41,637	—
受取補償金	—	4,390
特別利益合計	41,637	4,390
特別損失		
固定資産除却損	16,663	42,250
店舗整理損失	29,202	63,802
減損損失	—	3,345
特別損失合計	45,866	109,399
税金等調整前四半期純利益	547,557	456,301
法人税、住民税及び事業税	126,943	72,568
法人税等調整額	65,565	97,173
法人税等合計	192,509	169,742
四半期純利益	355,047	286,558
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,947	21,109
親会社株主に帰属する四半期純利益	337,100	265,449

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	355,047	286,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	978	△151
為替換算調整勘定	△5,036	9,363
退職給付に係る調整額	272	354
繰延ヘッジ損益	54,637	150,720
その他の包括利益合計	50,851	160,287
四半期包括利益	405,899	446,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	389,112	422,662
非支配株主に係る四半期包括利益	16,786	24,184



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2020年4月30日付の取締役会により、以下の通り資金の借入について決議いたしました。

1. 資金借入の理由

新型コロナウイルスの感染拡大とその長期化に対する備えとして、運転資金を手厚くし、財務基盤を強固なものとするための借入を行うものです。

2. 借入の概要

(1) 借入先：取引先金融機関

(2) 借入金額：30億円

(3) 借入実行日：2020年5月7日以降

(4) 借入期間：1年以上

(5) 担保等の有無：無担保・無保証

3. 業績への影響

本件借入による2020年12月期連結業績に与える影響は軽微であります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。